



データ収録用水中曳航器

Nv-Shuttle



定評あるアクアシャトルをさらに発展させコストダウンを計った大容量曳航器です。アクアシャトル同様に専用のCTD/蛍光光度測定器アクアパックの他、他社製の測定器も収容可能です。

また、オプションとしてプランクトンサンプラーや光学プランクトンカウンターとの組み合わせも容易になりました。

Nv-Shuttleは、5~15ノットで水深約0~80m(フェアリングを使用すれば140m到達可能)の間で使用されますが、フェリーボートのような高速艇ではアクアシャトル、もっと深く潜航させたければ大型曳航体シーソーアがあります。

特徴

- 低価格
- 最大荷重 500kgf(推奨ケーブル ロチェスター7-H-314A)
- 最大到達深度 140m(フェアリング使用時)
- 多種の水質測定器の搭載可
- リアルタイム又は、ロギング操作

●本カタログは、2009年11月現在のものです。



日本総代理店

ケー・エンジニアリング株式会社

111-0053 東京都台東区浅草橋 5-14-10

Tel 03-5820-8170 Fax 5820-8172

URL <http://www.k-engineering.co.jp>

E-mail sales@k-engineering.co.jp

データ収録用水中曳航器

仕様

材質	:プラスチック
走行可能深度	:約 0~80m 又は、最大約 150m(フェアリング使用時)
航速	:5~15 ノット(スタビライザ装着で 10 ノット以上可)
降下・上昇速度	:最大 2.0m/s
通信	:RS422Lin1
寸法(L:H:W)	:1.305×0.575×0.500m(但し、ブライダル等の突起物除く)
重量(空中)	:72Kg(但し、測定器は除く)
(水中)	:45Kg

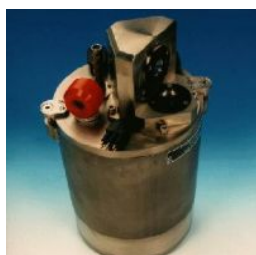
推奨アーマードケーブル

形式	:Rochester 7-H-314A
直径	:8.2m
引張り強度	:51.6kN
引張り荷重	:20.6kN
最小巻取り径	:43cm
重量(空中)	:268kg/km
(水中)	:220kg/km

推奨フェアリング

形式	:Indal Technologies Flexnose FA-478-350-1
----	---

搭載測定器



アクアパック
(専用 CTD+蛍光光度計)



ファストラッカ
(FRR 蛍光光度計)



アクアトラッカ
(蛍光光度計)



アルファトラッカ
(透視度計)

その他、光学プランクトンカウンター/プランクトンサンプラー、他社製 CTD 等が搭載可能です。
搭載可能測定器の仕様は、各カタログをご覧ください。